KAGRA安全管理室会議　議事メモ案　　　　　　　　　　　　　　　文責：黒田

1. Hazard Analysisアンケートのまとめ

DGS/AEL、DMG、IOO、Cryoから提出されている。主として業者が作業する真空subsystem以外にはVISから出れば、主要な部分の結果は明らかになるので、VISに回答を促し、その回答が出た段階でアンケート調査は収束させる（黒田が高橋氏に個別に問い合わせをする）。

1. KAGRA施設での作業に関する文書について

その都度修正して最新版の所在を周知する。文書の管理に関して、Safety manualと作業従事者調査票については大石さん、入坑申請書は大橋君（あるいは大橋君の指定する人）。なお、作業従事者調査票の提出は紙ベースとし、この紙媒体は安全管理室で鍵のかかる保管庫で保管し、必要な最小限の情報のみを利用するように努めることで個人情報の保護を行う。

1. 緊急連絡網について

安全管理上の規定で必要な正式バージョンは大橋君が作成して本安全管理室に提案する。現場で緊急時に有用と思われる連絡先はこれとは別に大石さんが原案を作成する。しかし、正式バージョンと紛らわしくないように配慮する。

1. PAB報告プレゼン案

室員各メンバーからのインプットが期待される。

1. その他

先に発生したCO中毒事故に関連した労基署からの指導書に対する鹿島建設の対応について今後の参考になることがあれば調査する。指導書自体は、予想される通りの内容で驚くべきものではない。鹿島建設の対応は、会議後の大橋君の情報から穏当な内容で対応しているということが分かった。いずれにしても、COを排出する機器の使用はしないことと作業開始前にCO濃度を計測することが求められる。

Safety manualは10月14日のChief会議で説明し公表するが、それ以前に入坑する作業者向けに印刷したSafety manualを用意する。